



地域の課題を発見・解決し、地域の再生・活性化を実現する、
琉大生の斬新でユニークなアイデアを募集！

平成 30 年度「地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）」 募集要項

1. 本プロジェクトの趣旨

地域社会にはさまざまな問題や課題があり、それを発見・解決し、地域を元気にしていくことが、今、求められています。とくに、若い人々の新鮮な考え方、ユニークな視点に、大きな期待が寄せられています。

「地域共創型学生プロジェクト（以下、ちゅらプロ）」は、琉大生が自ら「地域」に入り、地域の再生・活性化やそこでの課題の発見・解決等に取り組むという「公募型の正課外プロジェクト」です。地域を元気にするためのアイデアを学生の皆さんに出していただき、審査の上、優秀なアイデアに対して、そのアイデアを実行するための費用を提供します。採択されたプロジェクトに対しては、費用の支援だけではなく、計画・実施にあたって本学の教員・事務職員が全面的に皆さんのチャレンジをサポートします。

このプロジェクトを通じて、学生の皆さんが、地域に対する理解を深め、卒業後も地域の発展に大いに貢献できる人材となることを目指しています。

例えば、

- ・若者の人口流出に悩む地区に対して支援したい。
 - ・離島地域の子ども達になにかできることを支援したい。
 - ・地域の再生・活性化のための特産品開発に取り組んでみたい。
 - ・地域の課題が生じる原因について調査・研究してみたい。
- といったご要望にお応えします。

別添 2 に本プロジェクトが開始された平成 27 年度から平成 29 年度までの採択実施一覧をつけましたので、参考にしてみてください。

※この「ちゅらプロ」は、昨年度まで、文部科学省に採択された大学 C O C 事業（地域貢献事業）「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）」の中の一つのプロジェクトとして実施していました。この大学 C O C 事業を発展的に継続する形で、本年度は、戦略的地域連携推進経費（地域志向活動トライアル経費）より資金が提供されます。

以下、募集要項です。皆さんからの多数の応募をお待ちしています。

2. 応募資格 ※①～③の要件を全て満たすこと

- ① 琉球大学の正規の学生 3 名以上で構成されるチーム
* 在籍学年、所属学部・研究科は問いません。
- ② 実施するプロジェクトに「熱意」と「責任」を持ち、最後まで遂行できるチーム
- ③ 期限内にエントリーすることができるチーム

3. 募集コース、採択件数 ※いずれかのコースを選ぶこと

- ①「自由提案型」コース 1～2 件程度（必要予算額等により変動する場合あり）
- ②「エリア設定型」コース 1～2 件程度（必要予算額等により変動する場合あり）

※「エリア設定型コース」は、COC+において地域連携協定を結んでいる13エリア（石垣市、宮古島市、久米島町、国頭村、大宜味村、うるま市、南城市、東村、宜野座村、宜野湾市、西原町、中城村、金武町）および琉球大学と包括連携協定を結んでいる中城村、読谷村、西原町、奄美群島広域事務組合、沖縄県、宜野湾市、竹富町、糸満市、北中城村、沖縄市の各地域に関するプロジェクト、またはエリア内を拠点とする企業・自治体・活動団体等と連携したプロジェクトが対象です。

4. プロジェクトの実施要件

- (1) プロジェクトの上限支援額：1プロジェクトにつき、**最大30万円**の支援

※配分予算額を超える分については自己負担となります。

- (2) 全体プロジェクト期間（応募から実施まで）：2018年5月～2019年3月※下記表参照

⇨2019年2月中旬から3月中旬の間に成果報告会を実施する予定です。報告会までに活動を実施し、期間内に実施した活動の成果について報告できるように準備してください。また成果を公表する機会が他にも生じることがあります。

⇨2019年3月末日までに、最終報告書の提出やお世話になった機関へのお礼の連絡等を行います。プロジェクトの終了時期が早ければ3月以前に報告書の提出とお礼などを終えることも可能です。

5. 全体のスケジュール



	日程の目安	内容
応募	2018年4月26日（木）～5月25日（金）	エントリー募集期間
	2018年5月14日（月）12:00～12:40	公募説明会
発表	2018年6月2日（土）10:00～14:00	事前研修会
	2018年6月2日（土）～	プレゼンシートの作成期間
	2018年6月30日（土）13:00～16:00	公開審査会/採択プロジェクト決定
	2018年7月26日（木）	プロジェクトの採択通知
実施	2018年8月1日（水）12:00～12:30	キックオフ説明会
	2018年8月1日（水）～2019年1月末日	プロジェクト実施期間（個別ヒアリング適宜有り）
	2018年9月14日（金）	中間ブラッシュアップ検討会
	2019年2月中旬～3月中旬の間に予定	成果報告会
	2019年3月末日	成果報告書等の送付・お礼の完了

※個別ヒアリングは、成果報告会終了まで適宜実施されます。



6. エントリー方法

① 公募説明会、各学部事務窓口、琉大コミュニティキャンパス（RCC）事業ホームページ（<http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/>）のいずれかから、「エントリーシート」（別添1）を入手する。

② 「エントリーシート」に必要事項を記入する。

③ 必要事項を記入した「エントリーシート」を、琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課（大学本部棟1階）宛に直接または電子メールにて提出する。メール提出の場合は、電子ファイルを添付の上、提出すること。件名は下記のようにすること。

提出先アドレス：tyurasimajigyou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

提出件名：【「ちゅらプロ」(取組チーム名) エントリーシート】

7. エントリー受付期間

平成30年4月26日（木）～5月25日（金）※窓口提出の場合は15:00まで

8. 平成30年度「ちゅらプロ」公募説明会の開催について

下記の日程で、本プロジェクトの公募に関する説明会を開催します。経費の活用範囲についても説明と質疑応答を行うため、プロジェクトの応募を考えているチームはできるだけ参加すること。日程が合わないチームは個別に相談可。

日時：平成30年5月14日（月）12:00～12:40

場所：地域国際学習センター3階301室（予定）

9. 平成30年度「ちゅらプロ」事前研修会の開催について

下記の日程で、本プロジェクトの公開型プレゼン審査会に必要な「プレゼンシートの作成」と「プロジェクトの企画・運営」に関する研修会を開催します。プロジェクトの応募を考えているチームは、できるだけ参加を推奨します。日程が合わないチームは個別に相談可。

日時：平成30年6月2日（土）10:00～14:00

場所：地域国際学習センター3階301室（予定）

10. 公開型プレゼン審査会の実施について

日時：平成30年6月30日（土）13:00～16:00

場所：地域国際学習センター3階301室（予定）

①発表に含めることが望ましい内容（プロジェクトプランシートに記入する内容）

(1)プロジェクト概要：チャレンジしたいアイデア

（このプロジェクトはどのような内容ですか）

(2)取り組むべき地域課題

（このプロジェクトを実施することによってどのように地域に貢献しますか）

(3)オリジナリティ、面白さ

（これまでに実施されてきたアイデアとどう違っていて、どこが面白いのか）

(4)到達目標（最低限、クリアしたい目標値を設定してください）

(5)プロジェクトの実施計画

（プロジェクトの実施期間、担当者、(4)の目標を達成するための具体的な行動計画を教えてください）

(6)期待するプロジェクトの成果・効果

（このプロジェクトを実施すると地域にとってどんないいことがありますか）

(7)予算の使用方法（必要な予算について教えてください）



②審査の観点

(1)地域社会に対する意義

(このプロジェクトを実施することで「地域」に貢献できることがあるか)

(2)オリジナリティ

(すでに実施されているプロジェクトや活動と比べて評価できる点があるか)

(3)実施可能性（チャレンジする気持ちと行動力が伴っているか）

③審査員：本学教職員（地域連携推進機構を中心に選定）

④審査結果：審査会終了後、速やかに各プロジェクトの代表者に結果を通知する

11. 経費使用について

〈使用できる例〉

〈使用できない例〉

旅費（移動費・宿泊費） レンタカー借用代（ガソリン代も可） 制作物の材料購入費 パンフレット等の印刷費 図書購入費 謝金 送料 作業用具代 プロジェクトに必要な消耗品代など	プロジェクトとは関係のない消耗品代 自家用車による移動に伴うガソリン代 パソコンやディスプレイ等の備品購入代 学生個人が加入する保険料 タクシー代（特別に必要となる場合除く） 人件費（アルバイト雇用経費）など
※具体例や不明な点については、説明会にて問い合わせてください。	

12. その他、プロジェクトの実施に関する注意事項

①公開審査会、中間ブラッシュアップ検討会、最終成果報告会には原則チーム全員参加すること。

②本取組の教育効果を調べるため学籍番号記入式アンケートの回答に協力すること。

③外部機関への依頼や新聞等の取材を受ける際は、事前に申し出ること。

④実習的活動を伴う場合は、自己負担により必ず保険に加入すること。

⑤本プロジェクト経費で旅費の支出を行う場合、学内の教職員が旅行の引率者として随行することを受け入れること。

13. 運営主体・本件に関する問い合わせ先

「地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）」

主催：琉大コミュニティキャンパス（RCC）事業本部・地域連携推進機構生涯学習部門

協力：地域連携推進機構産学官連携部門「イノベーション創出人材育成事業」

琉大コミュニティキャンパス（RCC）事業本部 空閑睦子（くがむつこ）

TEL：098-895-8087 メール：kuga@eve.u-ryukyu.ac.jp

研究室：地域国際学習センター3階 306 研究室



平成 30 年度 地域共創型学生プロジェクト エントリーシート

エントリーチーム名	
フリガナ 代表者氏名	
所属・学年	() 学部・研究科 () 学科・課程 () 年 学籍番号：
連絡先	メール： 電 話：
プロジェクト名	
実施するプロジェクトの概要（100 字程度）	
参加メンバー氏名・所属・学年（代表者以外）	・
	・
	・
	・
	・
	・
	・
	・
	・
サポート教職員※2 の氏名・所属	氏名： <input type="text"/> 印 所属：() 学部 () 学科・課程 プロジェクトが島外へ移動を伴う際の引率（ 可 ・ 不可 ）

※1 必要に応じて、回答枠の拡張や行の挿入（電子ファイルの場合）、別紙への記入等を行ってください。別紙の場合、本エントリーシートと併せてご提出ください。

※2 「サポート教職員」とは、応募者が申請するプロジェクトへのアドバイス等を行う教員（琉球大学所属）のことをいいます。サポート教職員が実際にプロジェクトに関わるか否かは問いません。島外への移動において、サポート教職員が引率不可の場合、RCC 事業本部の教員が引率を行います。本エントリーシート提出時点で該当者が未決定の場合は空欄で構いません。（プロジェクト実施までには設定していただきます）

平成 30 年度 地域共創型学生プロジェクト エントリーシート

～記載例～

エントリーチーム名	チームちゅらプロ
代表者氏名 フリガナ	リュウダイ ハコ 琉大 花子
所属・学年・学籍番号	(○○○○) 学部 (○○○○○) 学科・課程 (○) 年 学籍番号：123456Z
連絡先	メール： 電 話：
プロジェクト名	○○○プロジェクト
実施するプロジェクトの概要（100 字程度）	<p>例 1：若者の人口流出が生じている地区をフィールドに、その地区の人々が求める支援に応えたい・・・。</p> <p>例 2：離島地域の子ども達になにかできることを支援したい・・・。</p> <p>例 3：地域の再生・活性化のための特産品開発に取り組んでみたい・・・。</p> <p>例 4：地域の課題が生じる原因について調査・研究してみたい・・・。</p> <p>など</p>
参加メンバー氏名・所属・学年・学籍番号（代表者以外）	・●● ●● (○○○○学部○○○○○学科・○年・123456 A)
	・●● ●● (○○○○学部○○○○○学科・○年・223456 B)
	・●● ●● (○○○○学部○○○○○学科・○年・323456 C)
	・●● ●● (○○○○学部○○○○○学科・○年・423456 D)
	・
	・
サポート教員※2 の氏名・所属	氏名： 印 所属：() 学部 () 学科・課程 プロジェクトが島外へ移動を伴う際の引率 (可 ・ 不可)

※1 必要に応じて、回答枠の拡張や行の挿入（電子ファイルの場合）、別紙への記入等を行ってください。別紙の場合、本エントリーシートと併せてご提出ください。

※2 「サポート教職員」とは、応募者が申請するプロジェクトへのアドバイス等を行う教員（琉球大学所属）のことをいいます。サポート教職員が実際にプロジェクトに関わるか否かは問いません。島外への移動において、サポート教職員が引率不可の場合、RCC 事業本部の教員が引率を行います。本エントリーシート提出時点で該当者が未決定の場合は空欄で構いません。（プロジェクト実施までには設定していただきます）

地域共創型学生プロジェクト（ちゅらプロ）採択実施一覧

平成 27 年度

	プロジェクト名	メンバー構成	プロジェクト概要
1	家庭環境と中学生の心と体の健康に関する研究	医学部 3 年：3 名	家庭環境と中学生の心と体の健康の関連について把握するために、県内の本島・離島の中学校を対象にアンケート調査とヒアリングを、また市役所を対象にヒアリングを実施し、結果を報告書としてまとめた。
2	宮古島城辺福里方言の音声教材作成ー聞いて話せる音声教材をめざしてー	法文学部 3 年次：3 名 法文学部 2 年次：3 名	宮古島城辺福里方言を対象に、言語学的な音声データ分析を通して音声教材と手引書、報告書を作成し、現地の教育機関へ配布した。併せて、方言辞典の著者へのヒアリングも実施。
3	体験型地域コミュニケーションの実現に向けたメディアアートプロジェクト	工学部 3 年次：1 名 工学部 2 年次：1 名 理学部 1 年次：1 名	メディアアート作品（音の鳴るゴミ箱「iTrash」）他）を地域に設置または提供し、作品と、作品に触れる人の様子を収めた映像などのメディアを作ることにより、地域の問題に対して目を向けてもらうことで地域への貢献を図った。
4	沖縄ヤギ文化復興プロジェクト	法文学部 4 年次：1 名 教育学部 3 年次：1 名 農学部 3 年次：1 名	沖縄のヤギ文化を復興させ、特に若者へのヤギへの親しみを高める。県北部のヤギ畜産農家と協働し、ヤギに関する実態調査・聞き取り調査を行い、フィールドワーク教材「ヤギ旅」を作成した。
5	元気プロジェクト in 久米島	観光産業科学部 2 年次：7 名 観光産業科学部 1 年次：15 名	久米島をフィールドとし、3 チームに分かれて、観光ツアーとお土産（菓子）の開発、子どもたちを含む島民との地域交流、漂着ゴミの清掃活動及び教材・民宿プログラムの企画、を実施した。併せて、久米島高校を対象にアンケート調査も行った。
6	週末農業の会@名護東海岸	農学部 4 年次：1 名 法文学部 3 年次：1 名 観光産業科学部 3 年次：1 名 農学部 2 年次：1 名	名護東海岸において週末の農業のお手伝いの機会を作ることによって、都市×農村交流の場をつくり、交流を通して場所とつながるきっかけづくりを行った。



平成 28 年度

	プロジェクト名	メンバー構成	プロジェクト概要
1	粟国島の特産品開発	理工学研究科博士前期 1 年次：1 名 理工学研究科博士前期 2 年次：1 名 工学部 4 年次：1 名	粟国島が周りの沖縄離島に比べ、人口減少が著しいことから、粟国島に人を呼び込み地域の活性化のための特産品の開発を行う。 〈例〉粟国島の特産品「もちきび」と「ようかんマーミー」を組み合わせた「もちきびようかん」など。
2	電気ウニプロジェクト in 粟国島	理工学研究科博士前期 1 年次：1 名 理工学研究科博士前期 2 年次：1 名 工学部 4 年次：1 名	粟国島の地域活性化のために、新しい特産物として、ウニの養殖を行う。まず、ウニの生態調査を行い、その後、IoT(Internet of Things)を駆使して、水温の調整や、指定された日時にエサを与える装置を製作することで、自動的にウニを陸上養殖し、最終的に粟国島の基盤産業とすることを目的としている。
3	体験型地域コミュニケーションの実現に向けたメディアアートプロジェクト	工学部 4 年次：1 名 工学部 3 年次：2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアアートの中でも社会課題解決型のアートの形で、社会にあるあらゆる課題を解決していく。 ・技術とアートの力を融合させた作品を、地域や公共という場で展開していくことで、そこにいる人とともにメディアアート作品を作り上げていき、様々な人の「オモシロイ」を引き出す。 ・その「オモシロイ」は、人が意図しないところで何かしらの問題を解決することにつながり、その結果をアート作品とする。 ・現在沖縄都市モノレール様に交渉中の「階段ピアノ」を設置し、人々がどのような反応を見せるのかを撮影し、作品にする予定。 ・階段ピアノの後に若者の選挙への投票を対象としたメディアアートを実施する。 ・前回と今回の作品を元に、地域社会の様々な課題に対してメディアアートを実践してゆき、地域と連携して様々な社会問題の解決と気づきを広げていく。
4	東海岸のイカした逆転!	理学部 3 年次：3 名	沖縄島では西海岸で観光開発が進む一方、東海岸は取り残されている。そこで、誰でも手軽にできるイカ釣りを媒体に人々の呼び込みと交流を図り、それを通じて沖縄の美ら海や東海岸独自の魅力を伝える取組を進める。

平成 28 年度

	プロジェクト名	メンバー構成	プロジェクト概要
1	おきなわ宇宙教室	理学部 2 年次：4 名	沖縄県の特に離島地域は、南天の美しい星空が貴重な財産である。この事業は、「おきなわ宇宙教室」と称し、宇宙・天文の世界を伝え、星空観察会を実施し、地域の魅力を知ること、星空を活用した地域活動の創出に資することを目的とする。また、離島の小中高生と大学生の交流の場とする。
2	キン未来プロジェクト	法文学部 3 年次：4 名	金武町外への金武町の知名度を向上させるため、金武町の農業体験を兼ねたバスツアーを行う。バスツアーの内容は、金武町の名産物であるタイモを中心にして、タイモ収穫・加工場や市場見学・料理実食・その他施設見学などを予定している。バス内ではタイモに関するクイズを行い知識定着や関心を高める。